

照明環境形成地域別 基準

地域名		自然環境地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観創出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●安全を保つために必要な明るさを確保しつつも、良好な自然環境や田園環境、生態系を保全する照明環境の形成を図る。 ●星空の美しさがわかる、静けさのある空間とするため、上方への漏れ光等による光害のない照明環境の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●緑豊かな環境の中であって、暗闇を保全し、夜の静けさを感じることが出来る夜間景観の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然環境に囲まれた歴史的景観地区として、歴史的風致を高め、趣のある夜間景観の形成を図る。 	—	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方向又は下・横方向への配光とし、配光制御、遮光板の設置等により、天空や周辺への漏れ光による障害光の発生を防止する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・間接光や拡散光による柔らかい灯りや陰影をつくりだす灯り、目線より下の低い位置の灯り等、伝統的街並みの雰囲気を出し出す照明の配置、配光に努める。 ・格子からの漏れ灯りや障子越しの灯り等を活用し、歴史的景観の演出を図る。 	—
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・不快なまぶしさを与えないような光源とする。 ・周囲の自然環境への影響に配慮し、光源を動かしたり、点滅させない。 ・昆虫類の飛来を抑えるため、誘虫性に配慮した照明器具(光源を含む)を使用する。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるよう努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・暖かみのある柔らかい光等、伝統的街並みの雰囲気を高める光源とする。 ・色温度を統一する等、落ち着いた雰囲気のある演出を図る。 	—
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観や田園風景と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質又は表面処理の器具の使用に努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然や街並みと調和し、一体感のある落ち着いた形態及び色彩その他の意匠とする。 ・提灯や行灯等の伝統的灯りをイメージし、歴史的景観の趣を高めるような意匠の採用を検討する。 	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な照明をなくすため、タイマー、センサー等により必要に応じて間引き点灯や深夜消灯、照明レベルの調節等の制御を行うように努める。 ・野生動物や樹木・農作物等の周辺環境への影響に配慮し、必要に応じて照明の時期や時間の調整を行う。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区域等[※]及び寺社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要のない照明器具は撤去する。 ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	—
	対象施設別	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を保つため、照明器具は効果的に配置する。 ・周囲の状況を考慮して、過度な照度としない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の自然等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の自然や街並み等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討し、色温度は電球色を基調とするなど、伝統的雰囲気を演出する。
対象施設別	屋外施設照明 (駐車場、公園、運動場等)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照明環境を形成するため、適切に照明する。 ・省エネルギーと防災対応のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観への影響に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然環境や歴史的景観と調和するように工夫する。 	—
対象施設別	建造物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物等を照射しない。照射する場合は、低位置照明を主体とした控えめな照射とし、漏れ光がないように特に配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 		<ul style="list-style-type: none"> ・街並みの景観資源である歴史的建造物を、控えめにライトアップする等、伝統的雰囲気を演出する。 	—
対象施設別	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 ・広告物への照明や広告物からの漏れ光がないように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告物への照明はしないよう努める。やむを得ず照明する場合は、周辺環境への影響に配慮し、控えめなものとす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光源は赤色を使用せず、点滅させない。 	—
対象施設別	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サーチライトやレーザー光線等の投光器は設置しない。 ・店舗や自動販売機からの漏れ光がないよう努める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な街並みの魅力を高めるため、灯りを活用した伝統的な行事を開催する等の演出を検討する。 ・玄関灯等を伝統的な意匠に統一する等、街並みの魅力を高めるように工夫する。 	—

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他去来等で設置が義務付けられている屋外照明設備については、この限りでない。

2. 設置期間が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認める屋外照明設備又は金沢の魅力高めると認める行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。

3. 金沢市都市景観審議会の意見を聴き、景観上支障がないと認める屋外照明設備については、この限りでない。

※景観形成上重要な区域等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

地域名		住宅環境地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観創出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅地における夜間の安全性や防犯性を確保するため、安全で安心して暮らせる照明環境の形成を図る。 ●住環境の向上に資する適切な照明器具を設置し、生活の温もりが感じられる良好な住宅地の照明環境の形成を図る。 	●周辺の自然景観と調和した落ち着いた着きのある夜間景観の形成を図る。	●伝統的街並みと調和した、情緒や落ち着いた着きを感じられる夜間景観の形成を図る。	—	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方向又は下・横方向への配光とし、配光制御、遮光板の設置等により、天空や周囲の住居等への障害光の発生を防止する。 ・まとまりのある照明環境の形成のため、計画的な配置を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・間接光や拡散光による柔らかい灯りや陰影をつくりだす灯り、目線より下の低い位置の灯り等、伝統的街並みの雰囲気や醸し出す照明の配置、配光に努める。 ・格子からの漏れ灯りや障子越しの灯り等を活用し、歴史的景観の演出を図る。 	—
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地としての暖かみのある、不快なまぶしさを与えない光源とする。 ・周囲の住宅環境への影響に配慮し、光源を激しく動かしたり点滅させない。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然環境に配慮し、光源を動かしたり、点滅させない。 ・昆虫類の飛来を抑えるため、誘虫性に配慮した照明器具(光源を含む)を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かみのある柔らかい光等、伝統的街並みの雰囲気を高める光源とする。 ・光源を動かしたり、点滅させないように努める。 ・色温度を統一する等、落ち着いた着きのある雰囲気を演出する。 	—
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みと調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・住宅地として意匠等の統一を図り、一体感のある照明環境の形成を図る。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質又は表面処理の器具の使用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや自然景観と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的街並みと調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・提灯や行灯等の伝統的な灯りをイメージし、歴史的景観の趣を高めるような統一的な意匠等の採用を検討する。 	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な照明をなくすため、タイマー、センサ等により必要に応じて間引き点灯や深夜消灯、照明レベルの調節等の制御を行うように努める。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区域等及び寺社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	—
対象施設別	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者が安全・安心に歩けるように、周囲の状況が認識できる照度及び黄色性を確保するように努める。 ・照明柱と信号柱等との集約化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の自然等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、色温度は電球色を基調とするなど、伝統的雰囲気を演出する。 	—
	屋外施設照明 (駐車場、公園、運動場等)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照明環境を形成するため、適切に照明する。 ・省エネルギーと防災対応のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観への影響に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の歴史的景観と調和するように工夫する。 	—
	建造物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物等を照射する場合は、照射対象を絞り込み、控えめな照射とし、周辺への漏れ光を防止する。 ・上方向照射する場合は、上空への漏れ光がないように、設置角度に十分配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、低位置照明や間接照明等、控えめな照射にする。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、昼間の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的街並みとの調和に配慮し、低位置照明や間接照明等、控えめな照射にする。 ・建造物のボリューム感や質感、彫りの深さ等を演出するように工夫する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、昼間の景観に配慮する。 	—
	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しないように努める。 ・発光式、反射式の素材は使用しないように努める。 ・電光表示装置は設置しないように努める。 ・光源は街並みとの調和に十分配慮した色とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 ・光源は赤色を使用しない。 	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サーチライト、レーザー光線等の投光器は、特定の対象物を照射する目的以外に使用しない。 ・防犯のため玄関灯の点灯に努める。 ・店舗や自動販売機からの漏れ光に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、自動販売機からの漏れ光がないよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な街並みの魅力を高めるため、灯りを活用した伝統的な行事を開催する等の演出を検討する。 ・玄関灯等を伝統的な意匠に統一する等、街並みの魅力を高めるように工夫する。 	—

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他法令等で設置が義務付けられている屋外照明設備については、この限りでない。
2. 設置場所が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認められる屋外照明設備又は金沢の魅力高めると認められる行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。
3. 金沢市都市景観審議会の意見を聴き、景観上支障がないと認められる屋外照明設備については、この限りでない。
※景観形成上重要な区域等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

地域名		まちなか地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観演出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●金沢の中心市街地として、地域内に点在する歴史的資産の活用を図りながら、金沢らしい個性と趣きのある照明環境の形成を図る。 ●住宅や店舗等が密集する地区として、住環境や利便性の向上に資する適正で秩序ある照明環境の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●罫川・浅野川の豊かな自然景観を保全し、憩いやすさを感じることが出来る夜間景観の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●金沢公園・兼六園周辺等の金沢を代表する歴史的遺構や伝統的街並みと調和した、風格や情緒のある夜間景観の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集う地区として、夜間の賑わいや楽しさを創出するとともに、過剰な光の氾濫を抑制し、洗練された夜間景観の形成を図る。 	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方又は下・横方向への発光とし、配光制御、遮光板の設置等により、周囲の住居等への障害光の発生を防止する。 ・まとまりのある照明環境の形成のため、計画的な配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配光制御、遮光板の設置等により、住居、河川、天空等への障害光の発生を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間接光や拡散光による柔らかい光りや、陰影をつくりだす灯り、視線より下の低い位置の灯り等、歴史的遺構や伝統的街並みの雰囲気より一層際し出す照明の配置や配光を検討する。 ・格子からの漏れ灯りや障子越しの灯り等を活用し、歴史的景観の演出を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の視線の高さにある柔らかい光りや連続させる等、歩く楽しさを感じさせる配置、配光を検討する。
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかとしての暖かみのある、不快なまぶしさを与えない光源とする。 ・周囲の住宅環境への影響に配慮し、光源を激しく動かしたり点滅させない。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、光源を動かしたり、点滅させない。 ・昆虫類の飛来を抑えるため、誘虫性に配慮した照明器具(光源を含む)を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かみのある柔らかい光等、伝統的街並みの雰囲気を高める光源とする。 ・色温度を統一する等、落ち着いた雰囲気を出し出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光源の照度や輝度、色温度等の組み合わせを検討する等、メリハリのある夜間景観の演出に努める。
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質又は表面処理の器具の使用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや自然景観と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みと調和し、一体感のある落ち着いた形態及び色彩その他の意匠とする。 ・提灯や行灯等の伝統的な灯りをイメージし、歴史的遺構や伝統的街並みの趣を高めるような意匠の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的な街並みや商店街と調和し、歩く楽しさを感じさせる、洗練された形態及び色彩その他の意匠とする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な照明をなくすため、タイマー、センサ等により必要に応じて間引き点灯や深夜消灯、照明レベルの制御等の制御を行うように努める。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区域等及び神社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。
対象施設別	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者が安全・安心に歩けるように、周囲の状況が認識できる照度及び演色性を確保するように努める。 ・照明柱と信号柱等との集約化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の自然等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、色温度は電球色を基調とするなど、伝統的雰囲気を演出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、にぎわいを演出する。
	屋外施設照明 駐車場、公園、運動場等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照明環境を形成するため、適切に照明する。 ・省エネルギーと防災対応のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観への影響に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の歴史的景観と調和するように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等では、風格のある洗練された魅力の演出を工夫する。
	建造物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物等を照射する場合は、照射対象を絞り込み、過度な照射を避け、周辺への漏れ光の防止に努める。 ・上向き照射する場合は、上空への漏れ光が少いように、設置角度に十分配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、低位置照明や間接照明等、控えめな照射にする。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、周囲の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的遺構や伝統的街並みとの調和に配慮し、低位置照明や間接照明等、控えめな照射にする。 ・建造物のボリューム感や質感、影の深さ等を演出するように工夫する。 ・伝統的な街並みの景観資源である建造物や季節感のある雪吊りをライトアップする等、伝統的雰囲気を演出する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、周囲の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物のボリューム感や質感、影の深さ等を演出するように工夫する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、周囲の景観に配慮する。
	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しないように努める。 ・発光式、反射式の素材はできるだけ使用しないように努める。 ・電光表示装置は設置しないように努める。 ・光源は街並みとの調和に配慮した色とし、点滅はさせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 ・光源は赤色を使用せず、点滅させない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告への照明は、演出性に優れた効率的で不快なまぶしさをしない照明器具とする。 ・光源の点滅の速度は緩やかにする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サーチライト、レーザー光線等の投光器は、特定の対象物を照射する目的以外に使用しない。 ・防犯のため玄関灯の点灯に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、自動防犯機からの漏れ光が少いよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な街並みの魅力を高めるため、灯りを活用した伝統的な行事を開催する等の演出を検討する。 ・玄関灯等を伝統的な意匠に統一する等、街並みの魅力を高めるように工夫する。 ・自動防犯機の設定には、伝統的な街並みとの調和を考慮し、漏れ光に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・灯りを活用したイベントの開催や、季節感のあるイルミネーション等による演出を検討する。

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他去来等で設置が義務付けられている屋外照明設備については、この限りでない。
 2. 設置時期が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認められる屋外照明設備又は金沢の魅力高めると認められる行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。
 3. 金沢市都市景観審議会の意見を踏まえ、景観上支障がないと認められる屋外照明設備については、この限りでない。
 ※景観形成上重要な区域等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

地域名		生活産業地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観創出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●住工共存地区として、住環境への影響に配慮しつつ、利便で快適な産業活動を支援する機能性の高い照明環境の形成を図る。 ●通行の安全性や防犯性の向上に寄与し、光害のない良好な住宅地の照明環境の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保全用水と調和した、やさらぎと落ち着きの感じられる夜間景観の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統的街並みと調和し、歴史的雰囲気が出る趣のある夜間景観の形成を図る。 	—	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方向又は下・横方向への配光とし、周囲の住宅への漏れ光等の防止に努める。 ・機能的で、まとまりのある照明環境の形成のため、計画的な配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配光制御、遮光板の設置等により、住居、用水等への障害光の発生を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間接光や拡散光による柔らかい灯りや、陰影をつくりだす灯り、目線より下の低い位置の灯り等、伝統的街並みの雰囲気を醸し出す照明の配置、配光に努める。 ・格子からの漏れ灯りや障子越しの灯り等を活用し、歴史的景観の演出を図る。 	—
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の生活や活動を支援するため、視認性に優れた、不快なまぶしさを与えない光源を使用する。 ・周囲への影響に配慮し、光源を激しく動かしたり点滅させない。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然環境に配慮し、光源を動かしたり、点滅させない。 ・昆虫類の飛来を抑えるため、誘虫性に配慮した照明器具(光源を含む)を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かみのある柔らかい光等、伝統的街並みの雰囲気を高める光源とする。 ・色温度を統一する等、落ち着きのある雰囲気を演出する。 	—
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質又は表面処理の器具の使用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや用水の景観と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みと調和し、一体感のある落ち着いた形態及び色彩その他の意匠とする。 ・提灯や行灯等の伝統的な灯りをイメージし、歴史的景観の趣を高めるような意匠の採用を検討する。 	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な照明をなくすため、タイマー、センサー等により必要に応じて間引き点灯や深夜消灯、照明レベルの調節等の制御を行うよう努める。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区画等[※]及び神社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	—
対象施設別	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具を効果的に配置し、必要な照度及び黄色性の確保に努め、安全・安心な交通を支援する。 ・照明柱と信号柱等との集約化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の用水等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、色温度は電球色を基調とするなど、伝統的雰囲気を演出する。 	—
	屋外施設照明 (駐車場、公園、運動場等)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照明環境を形成するため、適切に照明する。 ・省エネルギーと防災対応のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の用水等への影響に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の歴史的景観と調和するように工夫する。 	—
	建造物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物等を照射する場合は、照射対象を絞り込み、過度な照射を避け、周辺への漏れ光の防止に努める。 ・上方向照射する場合は、上空への漏れ光がないように、設置角度に十分配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや用水等に配慮し、低位置照明や間接照明等、控えめな照射にする。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、昼間の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的街並みとの調和に配慮し、低位置照明や間接照明等、控えめな照射にする。 ・建造物のボリューム感や質感、影の深さ等を演出するように工夫する。 ・伝統的な街並みの景観資源である建造物をライトアップする等、伝統的雰囲気を演出する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、昼間の景観に配慮する。 	—
	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰な光量とならないよう努める。光源の色や動き等は周囲の環境への影響に配慮する。 ・光源の点滅の速度は緩やかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 ・光源は赤色を使用せず、点滅させない。 	—
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サーチライト、レーザー光線等の投光器については、特定の対象物を照射する目的以外に使用しない。 ・防犯のため玄関灯の点灯に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の用水等に配慮し、自動販売機からの漏れ光がないよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な街並みの魅力を高めるため、灯りを活用した伝統的な行事を開催する等の演出を検討する。 ・玄関灯等を伝統的な意匠に統一する等、街並みの魅力を高めるように工夫する。 ・自動販売機の設置には、伝統的な街並みとの調和を考慮し、漏れ光に十分配慮する。 	—	

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他法令等で設置が義務づけられている屋外照明設備については、この限りでない。
2. 設置期間が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認める屋外照明設備又は金沢の魅力高めることと認める行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。
3. 金沢市都市景観審議会の意見を聴き、景観上支障がないと認める屋外照明設備については、この限りでない。
※景観形成上重要な区画等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群集保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

地域名		生産業務地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観創出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●生産業務活動を支援し、安全で機能的性の高い照明環境の形成を図る。 ●周辺環境との調和や、周辺地域への光害の防止に配慮した、環境にやさしい照明環境の形成を図る。 	—	—	—	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方向又は下・横方向への配光とし、周辺住宅地や田畑等への漏れ光の防止に努める。 ・機能的で、まとまりのある照明環境の形成のため、計画的な配置を行う。 	—	—	—
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・生産業務活動を支援し、作業の安全や事故の防止のため、視認性に優れ、不快なまぶしさを与えない光源の使用に努める。 ・周囲への景観に配慮し、光源を激しく動かしたり点滅させない。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるよう努める。 	—	—	—
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・工業団地として意匠等の統一を図り、一体感のある照明環境の形成を図る。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質又は表面処理の器具の使用に努める。 	—	—	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な照明をなくするため、タイマー、センサー等により必要に応じて暗がりき点灯や深夜消灯、照明レベルの調節等の制御を行うように努める。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区域等[*]及び寺社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	—	—	—
対象施設別	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具の効果的な配置や均質で機能的な光源により、必要な照度及び演色性の確保に努め、安全で円滑な交通を誘導し、生産業務活動を支援する。 ・照明柱と信号柱等との集約化を検討する。 	—	—	—
	屋外施設照明 (駐車場、公園、運動場等)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照明環境を形成するため、適切に照明する。 ・省エネルギーと防災対応のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	—	—	—
	建造物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物等を照射する場合は、照射対象を絞り込み、過度な照射を避け、周辺への漏れ光の防止に努める。 ・上向照射する場合は、上空への漏れ光がないように、設置角度に十分配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 	—	—	—
	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰な光量とならないよう努め、光源の色彩や動き等は周囲の環境への影響に配慮する。 ・光源は街並みとの調和に配慮した色とし、点滅の速度は緩やかにする。 	—	—	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・サーチライト、レーザー光線等の投光器具については、特定の対象物を照射する目的以外に使用しない。 	—	—	—

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他法令等で設置が義務付けられている屋外照明設備については、この限りでない。

2. 設置期間が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認める屋外照明設備又は金沢の魅力を高めると認める行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。

3. 金沢市都市景観審議会の意見を聴き、景観上支障がないと認める屋外照明設備については、この限りでない。

^{*}景観形成上重要な区域等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

地域名		流通業務地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観創出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●夜間における流通業務の安全性を確保し、利便性や快適性に配慮した機能性の高い照明環境の形成を図る。 ●幹線道路沿いにおいて、統一感があり街並みと調和した照明環境の形成を図る。 	●周辺の自然景観と調和した、やすらぎと落ち着きの感じられる夜間景観の形成を図る。	●伝統的街並みと調和し、歴史的雰囲気や漂う趣のある夜間景観の形成を図る。	—	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方向又は下・横方向への配光とし、周辺住宅地や田畑等への漏れ光の防止に努める。 ・機能的で、まとまりのある照明環境の形成のため、計画的な配置を行う。 	・配光制御、遮光板の設置等により、住居、河川、緑地等への障害光の発生を防止する。	・間接光や拡散光による柔らかい灯りや、陰影をつくりだす灯り、目線より下の低い位置の灯り等、伝統的街並みの雰囲気を醸し出す照明の配置や色温度を検討する。	—
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・流通業務活動を支援するため、機能的な視認性に優れ、不快なまぶしさを与えない光源の使用に努める。 ・周囲への影響に配慮し、光源を激しく動かしたり点滅させない。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然環境に配慮し、光源を動かしたり、点滅させない。 ・昆虫類の飛来を抑えるため、誘虫性に配慮した照明器具(光源を含む)を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かみのある柔らかい光等、伝統的街並みの雰囲気を高める光源とする。 ・色温度を統一する等、落ち着きのある雰囲気を演出する。 	—
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境や沿道景観と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・流通業務立地や沿道として意匠等の統一を図り、一体感のある照明環境の形成を図る。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質の器具又は表面処理の使用に努める。 	・周辺の街並みや自然景観と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みと調和し、一体感のある落ち着いた形態及び色彩その他の意匠とする。 ・提灯や行灯等の伝統的な灯りをイメージし、歴史的景観の趣を高めるような意匠の採用を検討する。 	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無暗闇照明をなくすため、タイマー、センサー等により必要に応じて間引き点灯や深夜消灯、照明レベルの調節等の制御を行うように努める。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区域等[※]及び寺社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	—
	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具の効果的な配置や材質で機能的な光源により、必要な照度及び黄色性の確保に努め、安全で円滑な交通を誘導し、流通業務活動を支援する。 ・照明柱と信号柱等との集約化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の自然等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、色温度は電球色を基調とするなど、伝統的雰囲気を演出する。 	—
対象施設別	屋外施設照明 (駐車場、公園、運動場等)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照明環境を形成するため、適切に照明する。 ・省エネルギーと防災対応のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観への影響に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の歴史的景観と調和するように工夫する。 	—
	建築物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物等を照射する場合は、照射対象を絞り込み、過度な照射を避け、周辺への漏れ光の防止に努める。 ・上向照射する場合は、上空への漏れ光がないように、設置角度に十分配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、低位置照明や射灯照明等、控えめな照射にする。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、屋間の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的景観との調和に配慮し、低位置照明や射灯照明等、控えめな照射にする。 ・建築物のボリューム感や質感、彫りの深さ等を演出するように工夫する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、屋間の景観に配慮する。 	—
	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰な光量とならないよう努め、光源の色彩や動き等は周囲の環境への影響に配慮する。 ・光源は街並みとの調和に配慮した色とし、点滅の速度は緩やかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 ・光源は赤色を使用せず、点滅させない。 	—
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションを設置する場合は、周辺への影響や季節感に配慮する。 ・サーチライト、レーザー光線等の投光器については、特定の対象物を照射する目的以外に使用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、自動販売機からの漏れ光がないよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関灯等を伝統的な意匠に統一する等、街並みの魅力を高めるように工夫する。 ・自動販売機の設置には、伝統的な街並みとの調和を考慮し、漏れ光に十分配慮する。 	—

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他法令等で設置が義務付けられている屋外照明設備については、この限りでない。

2. 設置期間が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認める屋外照明設備又は金沢の魅力高めると認める行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。

3. 金沢市都市景観審議会の意見を聴き、景観上支障がないと認める屋外照明設備については、この限りでない。

※景観形成上重要な区域等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

地域名		商業業務地域			
基準	照明環境形成基準	夜間景観形成基準			
		自然景観保全区域	歴史的景観保全区域	にぎわい景観創出区域	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●活気と魅力にあふれた商業業務地を創出するため、まちの賑わいや楽しさを演出する照明環境の形成を図る。 ●過剰な光の目眩を防止し、賑やかさの中にも秩序ある照明環境の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●河川・浅瀬川の水辺空間等の自然景観と調和した、魅力ある夜間景観の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統的な街並みや用水等の歴史的景観を活かす、情緒や趣のある夜間景観の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●金沢の顔となる都心地区として、風格があり洗練された魅力的な夜間景観の形成を図る。 	
屋外照明設備共通	照明方法	<ul style="list-style-type: none"> ・下方向又は下・横方向への漏れ光とし、障害光の発生を防止する。 ・にぎわいや楽しさを感じさせ、秩序ある照明環境のため、計画的な配置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配光制御、遮光板の設置等により、住居、河川、天空等への障害光の発生を防止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間接光や拡散光による柔らかい灯りや陰翳をつくりだす灯り、目線より下の低い位置の灯り等、伝統的街並みの雰囲気を出し出す照明の配置や漏れ光を検討する。 ・格子からの漏れ灯りや障子越しの灯り等を活用し、歴史的景観の演出を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の目線の高さにある柔らかい灯りを連続させる等、夜の街へ誘い、歩く楽しさを感じられるような配置や漏れ光を検討する。 ・ショーウィンドウや店舗の灯り等を活用し、賑わいや華やかさの演出に努める。
	照明器具(光源を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・商業業務活動を支援するため、色を忠実に再現する演色性が高く、にぎわい感を演出する、不快なまぶしさを与えない光源を使用する。 ・省エネルギー性やメンテナンス性の高い照明器具を用いるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の自然景観に配慮し、光源を動かしたり、点滅させない。 ・昆虫類の飛来を抑えるため、誘虫性に配慮した照明器具(光源を含む)の使用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・暖かみのある柔らかい光等、伝統的街並みの雰囲気を高める光源とする。 ・色温度を統一する等、落ち着いた雰囲気を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光源の輝度や輝度、色温度等の組み合わせを検討する等、メリハリのある夜間景観の演出に努める。
	形態・意匠等	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや商店街と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 ・商業業務地として意匠等の統一を図り、一体感のある照明環境の形成を図る。 ・耐久性に富み、腐食、劣化等の少ない材質又は表面処理の器具の使用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや河川等の自然景観と調和した形態及び色彩その他の意匠とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みと調和し、一体感のある落ち着いた形態及び色彩その他の意匠とする。 ・提灯や行灯等伝統的灯りをイメージし、歴史的景観の趣を高めるような意匠の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的な街並みや商店街と調和し、歩く楽しさを感じさせる洗練された形態及び色彩その他の意匠とする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・無暗闇照明をなくすとともに、街路樹への影響に配慮し、タイマー、センサー等により必要に応じて暗引き点灯や深宵消灯、照明レベルの調節等の制御を行うように努める。 ・交通信号機の背面では、赤、黄及び青色の照明を使用しない。 ・景観形成上重要な区画等及び寺社等の歴史的建造物の周辺からの見え方に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や夜の深まりに応じて、光源(明るさ、色、点灯時間、点灯箇所等)を調節することにより、四季の移ろいや時を感じさせる等の工夫を行う。
	交通施設照明	<ul style="list-style-type: none"> ・照明器具の効果的な配置により、安全・安心な交通を支援し、歩行者が快適に歩けるような照度及び演色性を確保するように努める。 ・照明柱と信号柱等との集約化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の河川等の環境条件に応じて照明灯の配置を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、色温度は電球色を基準とするなど、伝統的雰囲気を演出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の幅員や構成、周辺の街並み等の環境条件に応じて、照明灯の配置を検討し、にぎわいを演出する。
対象施設別	屋外施設照明 (駐車場、公園、運動場等)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境に配慮しつつ、施設の目的に応じて安全で快適に利用できるような照度環境を形成するため、適切に照明する。 ・必要に応じて、公園の噴水やモニュメント等のライトアップを検討する。 ・省エネルギーと効果のため、太陽光、風力等の自然エネルギーを活用した照明器具の採用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の河川等の自然景観への影響に十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の歴史的景観と調和するように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的な街並みとの調和を図りつつ、必要に応じて、公園の噴水やモニュメント等のライトアップにより、にぎわいの演出を図る。
	建築物等の照明	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物を照射する場合は、照射対象を絞り込み、過度な照射を避け周辺への漏れ光の防止に努める。 ・上向照射する場合は、上空への漏れ光がないように、設置角度に十分配慮する。 ・光源を面的に使用する場合は、周辺の街並みとの調和に配慮し、使用する面積比率・バランスに留意したものとす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みや河川等の自然景観に配慮し、控えめな照射にする。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、屋間の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的街並みとの調和に配慮し、低位照射や間接照射等、控えめな照射にする。 ・建築物のボリューム感や質感、彫りの深さ等を演出するように工夫する。 ・伝統的街並みの景観資源である建築物をライトアップする等、伝統的雰囲気を演出する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、屋間の景観に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物のボリューム感や質感、彫りの深さ等を演出するように工夫する。 ・投光器を使用する場合は、地中埋設や植栽等による隠蔽を図り、屋間の景観に配慮する。
	広告照明	<ul style="list-style-type: none"> ・過剰な光量とならないよう努め、光源の色相や動き等は周囲の環境への影響に配慮する。 ・光源の点滅の速度は緩やかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滅灯、回転灯の類は使用しない。 ・発光式、反射式の素材は使用しない。 ・電光表示装置は設置しない。 ・光源は赤色を使用せず、点滅させない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告への照明は、演出性に優れた効率的で不快なまぶしさをしない照明器具とする。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいの演出のため、閉店後のショーウィンドウの点灯を検討する。 ・イルミネーションを設置する場合は、街路樹等周辺への影響や季節感に配慮する。 ・サーチライト、レーザー光線等の投光器は、特定の対象物を照射する目的以外に使用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の河川等の自然景観に配慮し、自動販売機からの漏れ光がないよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な街並みの魅力を高めるため、灯りを活用した伝統的な行事を開催する等の演出を検討する。 ・玄関灯等を伝統的な意匠に統一する等、街並みの魅力を高めるように工夫する。 ・伝統的街並みの雰囲気を大切に、漏れ光のある自動販売機の設置には十分配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・灯りを活用したイベントの開催や季節感のあるイルミネーション等により、にぎわいの演出を検討する。

備考1. 非常時又は災害時のために必要な屋外照明設備その他法令等で設置が義務付けられている屋外照明設備については、この限りでない。

2. 設置期間が限定され、かつ、安全の確保など公共の福祉の増進に寄与すると認める屋外照明設備又は金沢の魅力高めると認める行事等に係る屋外照明設備については、この限りでない。

3. 金沢市都市景観審議会の意見を聴き、景観上支障がないと認める屋外照明設備については、この限りでない。

※景観形成上重要な区画等とは、文化財保護法に基づく伝統的建造物群保存地区、景観法に基づく景観地区、金沢市こまちなみ保存条例に基づくこまちなみ保存区域、金沢市における美しい景観のまちづくりに関する条例に基づく保全眺望点などをいう。

【照明環境の形成のために参考とすべき数値指標】

照明環境の形成のための参考とすべき数値指標については、JIS（日本工業規格）やCIE（国際照明委員会）等に示す基準値を基に、下記のように設定する。

ここで示す数値指標は、対象とする地域において照明環境を形成するために参考とすべき数値を示したものである。

なお、道路照明施設など個別の設置基準が設けられている施設については、この数値指標を参考としつつ、当該個別の設置基準に基づいた整備を行うものとする。

基準 地域名	地域の 特徴	CIE 環境 区域	光害対策 ガイド ライン 類型区分	【A】 平均照度 (lx)	【B】 上方光束比 (%)	【C】 色温度 (K)		【D】 演色性 (Ra)	【E】 障害光 [※]				【F】 発光面輝度 [グレア] (cd/m ²)		【G】 総合効率 (lm/W)
						3,300	5,300		鉛直面 照度 (lx)	照明器具 最大光度 (cd)	建物表面 輝度 (cd/m ²)	看板 輝度 (cd/m ²)	4.5未満	6,000	
自然環境 地域	自然環境や農地の保全を図る地域	E1	I; あんぜん	1~5	0	2,000~5,300	60以上	2 lx	2,500 cd	0 cd/m ²	50 cd/m ²	照明器具の 高さ(m)			LED以外の光源 ランプ入力電力が200W以上の 場合
住宅環境 地域	専用住宅を中心とした住宅地域	E2	II; あんしん	3~10	0~5	2,000~4,300	60以上	5 lx	7,500 cd	5 cd/m ²	400 cd/m ²		4.5~6	ランプ入力電力が200W未満 の場合	
まちなか 地域	金沢市の中心部で、伝統的の市街地が形成されている地域	E3	III; やすらぎ	3~30	0~15	2,000~4,300	60以上	10 lx	10,000 cd	10 cd/m ²	800 cd/m ²				6以上
生活産業 地域	住宅と工業系施設が混在立地している地域	E3	III; やすらぎ	3~30	0~15	2,000~5,300	60以上	10 lx	10,000 cd	10 cd/m ²	800 cd/m ²		直管 LED	星白色 星白色	
生産業務 地域	工場等の工業系施設の立地が目立つ地域	E3	III; やすらぎ	3~30	0~15	2,000~5,300	60以上	10 lx	10,000 cd	10 cd/m ²	800cd/m ²			電球型 LED	100 lm/W 以上
流通業務 地域	主に流通業務系の施設が立地している地域	E3	III; やすらぎ	3~30	0~15	2,000~5,300	60以上	10 lx	10,000 cd	10 cd/m ²	800cd/m ²				80 lm/W 以上
商業業務 地域	都心部や駅周辺等の商業・業務施設が集積立地している地域	E4	IV; たのしみ	5~100	0~20	6,000未満	60以上	25 lx	25,000 cd	25 cd/m ²	1,000 cd/m ²				

※) 暖かみのある光源とは、色温度が概ね4,000K以下

※) 鉛直面照度、照明器具最大光度は、滅灯時間前における値

基準 地域名	地域の 特徴	種別	【C】 色温度 (K)	【D】 演色性 (Ra)
歴史的景観 保全区域	伝統的な街並みと調和し、歴史的・文化的雰囲気や風格のある夜間景観を形成する区域	公共照明	2,700~3,500 ~4,300 [※]	80以上
		上記以外の照明	2,700~4,300	上表(地域ごとの数値指標)に準ずる

※) 景観資源を白く照射した方が効果的な場合などにおいては4,300Kまで許容

用語の解説

- 平均照度 照らされる「面の明るさ」（照度）を表わし、その面に入って来るすべての方向からの光束を総計して表わした照度。一般に、照度が高い（明るい）ほど作業能力が向上する。
- 上方光束比 光束（光源から放射されるエネルギーのうち、人間の眼に光と感じる量）のうち、水平より上方へ向かう光束のこと。照らす目的物以外に上方へ漏れる光を抑制することで、省エネルギーや効率化を図ることが可能となる。
- 色温度 光の色味により段階分けされた単位のこと。色温度が低いと赤みを帯び、色温度が高いと青みを帯びた光の色となる。
- 演色性 色の見え方に及ぼす光源の性質で、演色性を表す平均演色評価数（Ra）が大きい（100 が最高値）ほど、物の色を忠実に再現した、自然な色見え方となる。
- 障害光 漏れ光（目的とする照明対象範囲外に照射される光）のうち、光の量もしくは方向又はその両者によって、人の活動や生物等に悪影響を及ぼす光をいう。①水平面に直角な面の照度（鉛直面照度）の数値が高いと、寝室などに光が多く進入することとなる。②照明器具から発せられる光の強さ（照明器具最大光度）の数値が高いと、まぶしい光源を直視することなどにより、不快感（グレア）を感じるようになる。③照明された建物表面や看板からの輝きの程度（輝度）が高いと、輝きが過剰となり、夜景を強調するよりも目障りな過剰照明とみなされる。
- 発光面輝度 輝度（ある方向から見たとき物がどれだけ輝いて（明るく）見えるかを表したものの）のうち、照明器具の発光部分からの単位面積あたりの輝度を示したものの。視野の中に輝度の高い光源等があると、まぶしさ（グレア）を感じ、目の不快感や疲労を起したり、ものが見えにくくなったりする。
- 総合効率 光源から出る全ての光束を、照明の消費電力で割った値。この数値が高いほど、電気エネルギーが効率良く光に変換されていることになり、省エネルギー性の指標となる。